



県議会で初めての代表質問を行いました



「んには。乾浩之です。ようやく暖かくなり、気分も晴れやかにお過ごしのことと思います。季節の変わり目は体調を崩しやすいのでくれぐれも体調管理には気をつけてください。さて、3月の奈良県議会定例議会で、私が県議会議員になつて初めての代表質問を行いました。昨年の紀伊半島大水害の復旧・復興や観光、福祉など多くの質問をさせていただき、荒井知事より力強い答弁をうけました。今回は代表質問で荒井正吾知事の答弁を要約して報告させていただきます。

災害復興や観光・経済活性化など実効的な施策の展開を

3月定例議会代表質問（要旨）

大規模土砂災害システムの検討

乾浩之 昨年9月の台風12号災害では、紀伊半島全体で東京ドーム80個分の土砂崩れが発生し、県内の死者・行方不明者があわせて24名という大災害となつた。マスコミからはどうして避難指示を出さなかつたのか、と行政の対応に批判的な指摘があつた。今後、大規模土砂災害の監視・警戒・避難システムの検討を進めていくにあたり、知事はどのように考へているか。

荒井知事 今回の紀伊半島大水害では、土砂ダムや深層崩壊などの大規模土砂災害が多数発生した。現在、被災地の復旧・復興に向けて工事を進めていくが、今回ののような災害に備えるにはハード整備では限界がある。情報伝達や避難体制などのソフト施策の重要性が再認識された。

元市町村の関係者や学識経験者が集まり検討会を立ち上げた。まず、昨年12月には国・県・地方の聞き取り。2つめは現行の情報伝達や避難方法などの課題の整理を行う。

3つめは深層崩壊のメカニズム解明などで得られた成果などを、避難システムに活用する。4つめは大規模土砂災害に対応可能な情報伝達手法の整備などを行う。このように考へている。

アンカールート 早期の実現を

昨年4月10日の県議会議員選挙において、はからずもトップ当選という形で県議会にお送りいただき、皆様方に改めて御礼申し上げます。

早いものであれからもう1年を経過いたしました。私にとりましてはすべて初めての経験で、未熟なゆえにご心配もさせたこと思います。この1年間で培った経験や知見を生かし、郷土である奈良県の発展に向けて、さらなる精進を重ねる覚悟でございます。

今後とも変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。

荒井知事 2月に策定した復旧・復興計画で伊勢アーチルートの早期整備が望まれていている。



乾浩之 昨年、内閣府がまとめた東海・東南海・南海の3つの地震が連動する紀伊半島アーチルートの整備を位置づけたところだ。具体的にはアーチルートの一部である五條新宮道路については、県事業中の辻堂バイパスと

荒井知事 2月に策定した復旧・復興計画で伊勢アーチルートの早期整備が望まれていている。

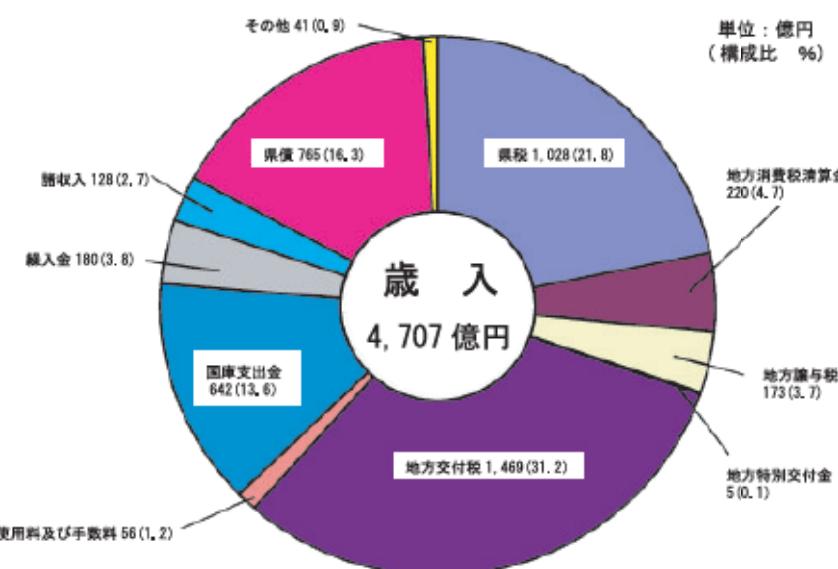
荒井知事 2月に策定した復旧・復興計画で伊勢アーチルートの早期整備が望まれていている。その先の七色地区までの約5・5キロメートルについても直轄権限代行で事業化されるよう国に働きかける。国道169号は、大型車のすれ違いができる新伯母峠トンネルについても直轄代行による整備を要望している。

川津道路を平成27年度までの完了を目指して既に整備を進めている。

今回被害が多数発生した長殿地区については延長2・6キロメートル、総事業費110億円の長殿

道路として、国の平成24年度新規採択時評価を経て、現在国会で予算審議されている。

奈良県24年度予算 歳入内訳



乾浩之 今年は古事記編纂1300年になる年で、奈良県は記紀・万葉プロジェクトを進めており、中南和地域を含め、県全域の観光振興につながる取り組みとして期待されているプロジェクト

クトをどのように展開するのか。

荒井知事 プロジェクトの推進において、県、市町村、団体などが県内全域に存在する記紀ゆかりの魅力を掘り起こし、磨き上げ、そ

れを活用していくことが重要だと思う。一昨年の平城遷都1300年祭においては、県内各地域の魅力を自らが見つめなおす取り組みが大いに進み、地域のパワーとなるきっかけになつた。

古事記イヤーの今年は、記紀に親しむ取り組みが高まり、来年につながるような、中南和地域を含む広域

トを、県がけん引役となつて10月から12月にかけて開催する計画を夏ごろまでに固めたい。

乾浩之 县では自転車利用の促進による滞在型観光の拡大による、観光振興や

自然環境、花と緑、文化遺産など、魅力的な資源が多い。そこで、県が誇れる公園として馬見丘陵公園を育てていくには、さらなる魅力の向上を図る必要があると

考

県内全域の観光振興に



てなしサービスが充実するよう、企業や施設管理者などと調整している。

荒井知事 中南和の観光拠点、地域振興の拠点となるよう、歴史遺産と豊かな自然環境を活用し、にぎわいの場所として整備を進め、新年には全区域65・3ヘクタールの広大な地域の整備が完了する。

昨年は全国都市緑化マートにおける宿泊旅行という運送事業者と調整をしており、これが実現すると自転車による宿泊旅行というシステムが可能になる。

馬見丘陵公園 魅力の向上へ

乾浩之 馬見丘陵公園は歴史、健康づくりなどをテーマとしたさまざまなイベントの開催などを地元市町村や民間団体にも呼びかけ、人が集い、にぎわう

自転車利用の安全・快適性向上

乾浩之 县では自転車利用の促進による滞在型観光の拡大による、観光振興や地域活性化を目指して平成22年度に奈良県自転車利用促進計画を策定し、広域的な自転車利用ネットワークの構築などに取り組んでいます。そこで自転車ネットワークの安全性や快適性の向上などの取り組みを行っている。また、同時にホームページも開設し、奈良のホームページを開いたい。

荒井知事 安全性の向上

代表質問の内容

- ◆ 大規模土砂災害の監視・警戒・避難システムの検討
- ◆ 紀伊半島アンカールートの早期整備
- ◆ 大規模災害時の広域支援
- ◆ 古事記、日本書紀を生かした観光振興
- ◆ 自転車利用促進計画の推進
- ◆ 馬見丘陵公園の魅力の向上
- ◆ 犯罪被害者支援対策
- ◆ 東アジアへの販路拡大
- ◆ 農業・農村の資源を活用した農村地域の活性化
- ◆ 福祉の課題
- ◆ 今回の介護保険制度の改正への県の対応
- ◆ 県立三室病院の再整備

奈良県にはすぐれた農産物や生産技術、農業基盤があり、美しい農村景観や歴史的風土は、将来にわたり大切に受け継ぐべき財産であると考えます。

農村の資源を有効に活用し、農村地域の活性化について、県としてどのように取り組まれるのか、と質問し

農村の活性化に向けた 新たな事業がスタート

たところ、荒井知事は「本県の特色ある農産物や農村景観は貴重な財産」との認識を示されました。そのうえで「今年度からは新たにいくつかの事業を展開したい」として、広陵・田原本地域において、あぜ道周辺のコスモス栽培、馬見丘陵公園でのダリア栽培など、四季折々の花を楽しめる周遊づくりが始まります。

県への要望

乾浩之 今議会の知事の提出議案要旨のなかで、県立三室病院の今後の方針について触れていた。三室病院の整備を求めていた私たちにとって大いに期待できる県の姿勢であると考える。その後の検討状況や新年度にどう取り組もうとしているのか。

荒井知事 県立三室病院は、昨年5月に策定した新県立奈良病院の基本構想のなかでも、三室病院を新設する方針を示すとともに、必要な診療機能などについて議論を進めていきたい。

地域活性化のため道路や河川の改修など、さまざまな要望を県に上げました。

〔広陵町地内の整備〕

- ①県道田原本・広陵線奥坪橋から西向きの歩道整備
- ②県道桜井・田原本・王寺線寺戸大橋～葛城川間の車道舗装修繕
- ③県道箸尾停車場線町道引継ぎに伴う歩道蓋の改善及び箸尾駅までの道路補修
- ④県道大和高田・斑鳩線の歩道段差解消及び拡幅整備
- ⑤奈良県第2浄化センター外周道路の県道へ移管
- ⑥広瀬川の改修工事早期着手

〔上牧町地内の整備〕

- ①県道上中下田線の歩道拡幅整備
 - ②一級河川滝川における水辺の創設整備
 - ③県道中筋出作川合線（上牧町交差点付近）の渋滞緩和整備
- また、予算委員会において王寺町の「香芝・王寺線の拡幅工事」と、河合町の「不毛田川の改修工事」の必要性を強く訴えました。

三室病院の整備 今年度の取組み



西和地域の拠点病院となる三室病院の整備の方向性について知事に尋ねました

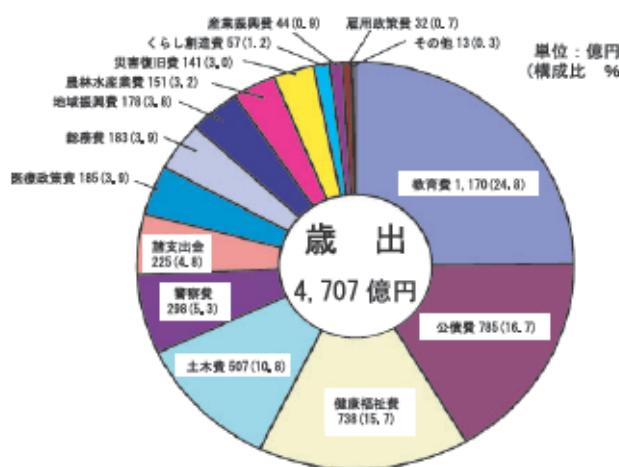
乾浩之 今回の介護保険制度の改正の要請は、地域包括ケアであり、なかでもうな方向性を持って取り組むべきである。そこでは、高齢者が地域で安心して暮らし続けるには、医療と介護の連携強化が重要な課題になっている。

荒井知事 県ではモデル事業として、地域での医師とケアマネージャーとの交流会の実施や、共通の連絡シートの作成、研修会の開催など、医療と介護の円滑化や認知症の方が地域で

受けた取り組みを支援している。今後はこれら医療と介護の連携の充実を図るとともに、新しいサービスのあり方を研究していきたい。

包括ケア実現は医療と介護の連携強化が大切

奈良県24年度予算 岁出内訳



荒井知事 行政の支援

制度は、対象者や問題により縦割りになつていて、従前から関係部局が連携していくチームで途切れ、切れ目なく支援することが重要。

大阪府ではパーソナルサポートを府が養成し、モデル事業が取り組まれた。鈴鹿市では生活保護受給者の自立支援に向けての取り組みで成果を上げたと聞いている。

荒井知事 行政の支援制度は、対象者や問題により縦割りになつていて、従前から関係部局が連携していくチームで途切れ、切れ目なく支援することが重要。

たとえば県と国の労働局では連携して生活保護受給者の就労を支援している。他府県の実施状況などを参考にしながら、本県においてどのような取り組みが可能か、引き続き前向きに検討したい。

パーソナルサービス事業の実施を

乾浩之 昨年発表された厚生労働省の国民生活基礎調査によれば、全国民のなかで生活に苦しむ人の割合を示す総体的貧困率が2009年は16%と過去最高の水準になったと発表された。そこでながら元気クラブから質問したパーソナル・サポート・サービス事業について聞きたい。

11月

- 3日・広陵町文化祭
7日・県環境審議会
20日・全国植樹祭
29日・地域交通対策委員会
30日・本会議、総務警察委員会

12月

- 6日・本会議
7日・本会議
8日・本会議
9日・本会議
14日・本会議閉会

1月

- 5日・広陵町商工会賀詞交歓会
6日・上牧町出初式
8日・広陵町出初式
9日・広陵町・上牧町成人式

2月

- 3日・アジアコスモポリタンフォーラム
10日・奈良県人会全国大会
13日・広域行政特別委員会
21日・総務警察委員会
27日・地域交通特別委員会
28日・本会議

3月

- 3日・市町村対抗子ども駅伝大会(馬見丘陵公園)
5日・本会議(代表質問)
23日・本会議(閉会)
25日・京奈和自動車道大和御所道路開通式
28日・中和幹線開通式
30日・環境審議会

4月

- 1日・自民県連「絆と結束の集い」
12日・医療を中心としたまちづくりセミナー
20日・リニア新幹線期成同盟会総会
27日・県議会改革シンポジウム

掲示板

県政報告会のご案内

県政報告会を6月2日(土)、かぐや姫ホールで午後7時から開催いたします。1人でも多くの方のご参加をお待ちしております。お問合せは乾浩之後援会(電話0745-56-5999へ)

第2回 いぬい浩之 後援会ゴルフコンペ

日時=8月2日(木)
場所=コマカントリークラブ
ふるってのご参加をお待ちしています。お問合せは乾浩之後援会(電話0745-56-5999へ)

活動アルバム



去る4月1日に行われた自民党県連主催の「絆と結束の集い」に出席しました。党本部の石原伸晃幹事長や小渕優子氏も参加され、政権奪還に向けて気勢をあげました。自民党的推進を受けた私も、「強い自民党的復権に向けてがんばります」と決意を表明し、石原幹事長、小渕氏と記念撮影を行いました。



荒井知事と



県政ホット HOTニュース



京奈和自動車道大和御所道路の開通式に出席しました。



中
南
和
の
東
西
軸
・
中
和
幹
線

動脈道路が続々完成

3月25日に京奈和自動車道大和御所道路の一部が開通し、3月28日には中和幹線の下田工区・逢坂工区が完成し、悪いと言われてきた奈良の道もかなりよくなつてきました。2つの道路は中南和地域連携強化、渋滞緩和、安全、安心な医療サービスの提供、観光振興などに寄与します。道は発展の源ですから、さらなる充実を図つてもらいたいものです。

平成24年度の予算審査特別委員会の委員に任命され、委員会でたくさん質問をさせていただきました。そのなかで県営水道の耐震化について報告します。紀伊半島大水害や東日本大震災の被災地の状況から予算案でも安全安心の確保はその最たるものです。

電気、水道、ガスなど、ライフラインの確保の重要性が再認識されました。とりわけ自治体が運営する水道、飲料水の確保はその最たるものです。

管については老朽化による漏水の心配も考えられます。それをとして、県営水道の施設やの維持と整備にも全力をあげてほしいですね。

県営水道の耐震化を 安全安心確保のため

理も含め議論されています。私が住む広陵町においても、水道事業を今後どのように運営していくのか、危機管理が計上されています。